

1	審議会名	平成30年度 第2回安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会
2	日 時	平成31年3月27日(水) 午後7時30分から午後8時20分まで
3	会 場	安曇野市役所本庁舎 3階 307会議室
4	出席者	大林委員、白倉委員、戸塚委員、坂楨委員、長瀬委員、 山崎委員、針間委員、三澤委員、山岸委員、三好委員、 寺島委員、堀内委員、上兼委員、堀金委員、永野委員
5	市側出席者	臼井生涯学習課長、山口社会教育担当係長、小穴副主幹
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0 人 記者 0 人
8	会議概要作成日	平成31年3月28日(木)
協 議 事 項 等		
1、会議の概要		
1	開 会	山口社会教育担当係長
2	あいさつ	大林会長 臼井生涯学習課長
3	協議事項	
議事の概要		
(1) 放課後児童クラブの利用に関するアンケート調査結果について		
(事務局)	資料の説明(資料1)	
(会 長)	事務局から説明いただきました。 昨日の教育委員会定例会で報告いただいたということで、本日資料配布されたばかりですが、ご質問、ご意見等ありますか。	
(委 員)	今の説明からすると、5、6年生の対応を含めて施設、設備等を増やす予定はないということでしょうか。	
(事務局)	今すぐ、例えば4月からとか、あるいは31年度中に施設を増やすということは難しいと思っている。 それ以降については社協さんの人員の関係もあるため、調整しながら進めていきたい。 5、6年生の児童クラブの受入れは、希望がゼロということはないと考えていて、アンケート前は10%位の希望かと思っていたが、実際は20%の希望という状況。 一方、受け入れスペースが難しい状況になっており、どう調整していくかということ。 今後、一斉に全市で6年生まで受け入れは難しいため、できるところからという形で考えていく方向はどうか。 社協さんの受入れ態勢も検討していかなければならないため、すぐにできる状況ではないが、希望はあるため考えていきたい。	
(会 長)	他にはいかがでしょうか。 (質疑なし) それでは、次の議事に進みたいと思います。	

(2) 来年度の予定について

(事務局) 資料の説明(資料2)

(会長) 説明いただきました。

ご意見、ご質問をお願いします。いかがでしょうか。

(委員) 説明のあった、秋まで放課後子ども教室が始められないのは穂高南小学校でよいか。

それから、このパンフレットを配布することと思うが、写真について、学校によっては、こういう寺子屋風の形をとっていないところもあるので配慮をお願いしたい。

(事務局) 承知しました。

(会長) 他にはよろしいでしょうか。

では、(3)のその他で、委員さんから協議したい事項がありましたらお願いします。

(委員) 少し戻るが、アンケートの説明の中で、指定管理側の体制やスタッフの配置の話があった。

前回お話ししたかもしれないが、スタッフ確保が非常に厳しい。

要因としては、児童の増加にスタッフの配置が追いついていない。

また、介護現場や福祉現場では慢性的な人材不足で、新年度が始まるが、全体で1割位が足りていない。

学生アルバイトを入れたり、資格要件を緩和したりしているが、なかなかスタッフが揃わないため、賃金の見直しも行っているが、それでも追いついていないということで、人員体制を整えていくことに不安がある現状です。

(会長) 前回、人員の定数を緩和させるということを知って、良いのか悪いのか、例えば1人で20人を見ていたところを40人見るとなると、本当に子どもたちのために良いのかと考えてしまう。

(事務局) 先ほどの説明にもあったが、スタッフの問題がクリアできたとして、次は場所の問題になる。

学校の余裕教室はあまりないということで、生徒数が減っていくことはあるが、それで3階や2階の教室が空いたとしてもトイレも近くにないと、児童クラブ室として使うことが難しい。

空調なら付けることもできるが、トイレはすぐにはできないので、トイレに近いところが条件になる。

また、学校はセキュリティが重要で、児童クラブ室以外は入れないようにしなければいけないため、余裕教室がすぐ使えるかということ、なかなか難しく、私たちも学校と十分調整をとっていかなければいけない。

単純に部屋があればということではないことをご理解いただければと思う。

(委員) 学区内に児童クラブがないのは明北小だけだと思うが、子どもたちは学区外まで歩いている。

しかも、国道19号を歩いて、横切る危険性もある。

そういう状況で、明北小は共用できる部屋があるという回答になっており、できることとすれば、まず小学校の共用スペースを利用させていただいて、明北地域に児童クラブを立ち上げていただくことが良いかと思う。

それが不可能なら、例えば送迎を考えていただくとかでないと、非常に心配。

実際に、地域の方から子どもたちの危険性についてご意見もいただいている。

例えば、「あいりす」を使わせていただければ、利便性は高まるし、廃線敷を歩いていけば10分程度で行けるので、野生動物はいるが交通面では問題ない。

そこも含めて検討いただければありがたい。

(委員) 放課後児童クラブと少し離れる部分があるかもしれないが、このニーズは、働きながら子育てができるということを考えていかなければいけない。

一番良いのは、学校なり、児童クラブがより充実してできれば、保護者も安心していただけるが、その他の方法をどう考えていけば良いか、例えば、三郷では公民館、図書館、交流センターができ、そんなところを5、6年生が利用できるように持っていければ、そこで学習していく中で、あるいは読書していく中で、保護者が迎えに来るということもできるようになる。

他の地域では学校の近くにそういうところがないか。

児童クラブとは違って、そういう形が考えられないか、検討してもよいのでは。

もう1つ別の形とすれば、地区公民館に投げかけて、地区の公民館を開けてもらって、そこまで帰って、保護者が帰ってくるまで学習をするなりしていくことができないか。

区長会や公民館長会で投げかけていくことも必要と思うが、近くの方たちがボランティアとして参加していくことも、選択肢として考えていく必要があるかとも考える。

(事務局) 今のご意見が実現できれば良いが、安全安心の部分で、今は社協さんが責任を持ってやっけていただいているが、何かあった時の責任の所在が難しいところだと思う。

ボランティアでやっていただいて、何かあった時にご厚意でやっていただいたことが無になってしまう。

十分に検討していく必要があるが、地域での支えあいは非常に良いことなので、上手く調整がつけばと思う。

それから、学校の余裕教室については、今年1年間お願いする中で、部屋の確保が非常に難しかったということがあった。

春休みには新年度の準備があり、ある部屋は学校でも使いたいという希望もあり、100%良いという部屋がなかなか難しいのが、このアンケートの結果だと思う。

ある程度は良くても、1年間ずっとは難しいというということもあるが、その学校の子どもたちが利用するということなので、できる限りの協力をお願いして進めていきたい。

(会長) その他のご意見はいかがでしょうか。

以上で本日の協議を終了させていただいてよろしいでしょうか。

これをもちまして、第2回放課後子ども総合プラン運営委員会を終了させていただきます。